

## 川口子ども食堂で自衛隊をPR

埼玉地方協力本部は、九月二十日（金）埼玉県川口市の川口子ども食堂において子供たちに対し南極の氷を使用した自衛隊の広報活動を実施した。

川口子ども食堂は、経済的貧困、孤食による心の貧困に陥っている子供やその親に対して栄養豊富な食事を提供し、みんなで食事を楽しむ地域の市民活動である。全国にある子ども食堂では食事の他に学習支援等を行っているが、川口子ども食堂では子供たちが憧れる職業の紹介を企画し、これまで看護師、消防士、パイロットが参加した。

今回、自衛官の仕事を紹介することとなり本部長が防衛省・自衛隊の必要性や自衛官の仕事と魅力を伝え、自衛隊を身近な存在としての認知向上を図った。また、広報官が砕氷艦「しらせ」にまつわるクイズで楽しませた。最後に南極の氷を見て触れて感じて大満足の子供たちであった。参加した小学生の女子児童は「クイズがとても楽しかった。ありがとうございました」と笑顔で話していた。



## 春日部市民の日記念イベントで自衛隊をPR

埼玉地方協力本部は、十月一日（土）イオンモール春日部で開催された春日部市民の日記念イベントにおいて、広報ブースを開設しました。

春日部市民の日記念イベントは「今、そこにある危機・イオンモール春日部で学ぶ防災」をコンセプトに春日部市、行政機関及び民間企業がコラボした地域最大級の防災イベントです。行政機関及び民間企業がコラボした地域最大級の防災イベントです。

広報ブースでは、高機動車と広報官お手製ミニバギー戦車による体験試乗、災害派遣と陸海空装備品のパネル展示、ミニ迷彩服試着撮影会を行いました。高機動車の体験試乗では、長蛇の列ができ、広報官が休憩する暇もないほど盛況でした。ブースを訪れた方からは「自衛隊がいてくれて安心して生活できます」との言葉を頂きました。

埼玉地方協力本部は本部長要望事項である「誠実・努力・笑顔」をモットーに、今後更に積極的に地域イベントに参加し、自衛隊の活動について理解を深めて頂くとともに地域住民の方々の信頼を得るよう努力します。



## このす花火大会で自衛隊をPR

埼玉地方協力本部は、十月八日（土）埼玉県糠田運動場において開催された「このす花火大会」において広報活動を実施しました。

当日は天気が不安定で時折激しい雨が降り開催も心配されましたが、午後になると天候も回復し約六十万人の来場者で賑わいました。

埼玉地方協力本部のブースでは、ミニ制服試着体験に多くの家族連れが訪れ、笑顔で記念写真を撮っていました。

また、パネル展示や各種募集パンフレット等により自衛隊の活動や募集状況の説明を行い、市民及び観光客の方々に自衛隊をアピールする事ができました。

埼玉地方協力本部は今後も地域のイベントに積極的に参加し、地元に着目した募集広報を行い、募集基盤の強化を図ります。

